



CS やってみよう!

地域とともにある「楽しい学校」づくり

裾野市教育委員会
学校教育課
令和4年9月30日

私たちも、はじめは悩みました。
大事なのは、「対話」と「信頼」を
少しずつ積み重ねることです。



CS マイスター 井上尚子さん

8月26日(金)に、市生涯学習センターで第2回コミュニティ・スクール研修会を行いました。今回は、学校運営協議会委員、CS ディレクター、教職員、行政職員など80人が参加しました。講演では、文部科学省コミュニティ・スクール推進員 (CS マイスター) を務める井上尚子さんを講師としてお招きし、ご自身の豊富な実践や全国の取組事例からコミュニティ・スクールを進める上でのポイントやヒントとなることを教えていただきました。杉並区の小学校の学校運営協議会委員として、悩みながら進めてきた経験、保護者や地域の方の視点から見たCSの進め方についてとても分かりやすく、これからの取組のヒントとなることをたくさん教えていただきました。



後半は、コミュニティ・スクールをよりよいものにしていくために必要な「学校運営協議会での“熟議”」を体験しました。テーマは、『CSだから、地域と学校がいっしょにできることを考えよう!』に設定し、地域の方と教職員がグループワークを行いました。テーマに沿った“考え”を出し合うところから、終盤は一人一人が子供や学校、地域に対する“思い”を語り合う様子が何え、笑顔で対話する姿が印象的でした。井上さんが講演で示したポイントである「**ともに考える**」「**まず一つの共有から一歩ずつ**」「**ともに進むパートナーとしての関係づくり**」を実感できる熟議となりました。

★熟議で出されたアイデア★ ♪CSだから、地域と学校がいっしょにできること♪

- 防災キャンプ(防災訓練) ○季節の行事 ○校区ツアー&スタンプラリー ○職業講話
- 農業体験 ○地域の歴史学習会 ○昔のくらし体験 ○ごみ拾いウォーク
- 地域子ども未来会議 ○朝トレーニング ○クラブ活動 ○遊び教室・遊び場づくり

参加者からの感想

小学校や違う地域の方とお話することで、さらにやりたいこと、やってみたいことがどんどん出てきてとても勉強になったのと同時に、とても楽しい時間を過ごすことができました。(中学校教員)

井上さんの話は体験談なので、非常に説得力があり、身にしました。CSを進める上で、何をどのようにするのが具体的に理解できました。熟議では、地域も学校も方向性は同じように感じました。双方の「対話と納得」のもと、楽しく活動できることが大事だと思います。(学校運営協議会委員)

「井上先生が歩いてこられた道のり」についてお話して下さったことが大変参考になりました。「学校を理解すること」と「学校に自分を知ってもらうこと」。私はこの一年、この2つの両方向の充実に努力していこうと考えていたので、井上先生のお話を聴き、嬉しく感じました。小さな意見がヒントとなり、CSを充実させることができるような会を作っていくように勉強していきます。(CSディレクター)

地域の方が学校のことを知りたがっているということが分かりました。専門用語を使わずに、地域や保護者に知ってもらおうとする気持ちが大切だと感じました。「いっしょに」のためには、お互いを知って、直接話すことが大切だと思いました。(小学校教員)

★それぞれの学校運営協議会でも、ぜひ『熟議』による対話を楽しんでみてください。